

「平成24年度ラムサール条約湿地登録記念! 荒尾干潟写真コンクール」応募用紙

氏名	ふりがな (歳 男・女) ※18歳未満の場合 (保護者名)		
住所	都道府県	市区郡	町村
電話番号 (携帯でも可)	()	—	応募点数 点
職業	該当するものを○で囲んでください 自営・会社員・公務員・学生(学校名:) 学年:)・その他()		
部門	デジタル写真 応募する部門を○で囲んでください 一般部門・ジュニア部門		携帯写真部門
応募作品	●題名: ●撮影時期: ●撮影場所: ●応募理由:		
応募作品	●題名: ●撮影時期: ●撮影場所: ●応募理由:		
応募作品	●題名: ●撮影時期: ●撮影場所: ●応募理由:		
応募作品	●題名: ●撮影時期: ●撮影場所: ●応募理由:		
応募作品	●題名: ●撮影時期: ●撮影場所: ●応募理由:		

世界的にも貴重な荒尾干潟を、多くの人に知っていただき、守っていくにはどうすればよいでしょうか? よろしければご意見をお聞かせください!

注) 1. 応募作品の点数や記載事項が多い場合は、綴紙または用紙をコピーして記入してください。 2. 撮影時期、撮影場所は分かる範囲で記入してください。
3. 応募理由は、なぜこの作品に応募したのかを簡潔に記入してください(200字以内)。 4. メールによる応募の場合は、応募用紙に記載された事項が分かれば様式は自由です。

ラムサール条約湿地登録記念!
Ramsar Convention



あらおひがた 「いのちあふれる、まなびの海」
荒尾干潟 ARAO TIDAL FLAT
デジタル写真コンクール DIGITAL PHOTO CONTEST

募集期間 平成24年 8月1日(水)~12月20日(木)

テーマ

「干潟と人々のつながり」

ラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟と人々のくらしのつながりを撮影した写真を募集します。



応募先 EPO九州

〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-8 熊本市国際交流会館2F
E-mail: photo@epo-kyushu.jp

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

主催: 環境省 九州地方環境事務所
共催: 熊本県、荒尾市
特別協力: JR九州熊本支社、富士フイルム九州株式会社、日本野鳥の会熊本県支部
後援: 熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送(RKK)、テレビ熊本(TKU)、熊本朝日放送(KAB)、熊本県民テレビ(KKT)

問合せ: EPO九州 (☎096-312-1884 E-mail: photo@epo-kyushu.jp) ※休館日: 日・月曜日

荒尾干潟について

荒尾干潟は、有明海の中央部東側に位置し、単一干潟としては、国内でも有数の広さを誇っています。そこでは、ゴカイ類、貝類等多様な生き物が生息する豊かな環境である干潟を利用した、ノリの養殖やアサリ漁等が行われ、豊かな生態系の恩恵を受けながら、地域の人々の暮らしが営まれています。また、数多くのシギ・チドリ類及び絶滅危惧種であるクロツラヘラサギ・ズグロカモメが中継地及び越冬地として飛来することでも知られ、バードウォッチャーの注目を集めている場所でもあります。

2012年7月、荒尾干潟は、特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地として、国内の8箇所の湿地と共に、ラムサール条約湿地に新たに登録されました。今回、この豊かな生態系を有する荒尾干潟において、地域の人々をはじめ、多くの人々が身近にある自然の豊かさや暮らしとのつながりに気付くきっかけとなり、未来に向けてこの干潟を守り、保全していくきっかけとなるように、「荒尾干潟デジタル写真コンクール」を開催いたします。

ラムサール条約とは？

1971年にイランのラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」において「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択されました。この条約は開催地にちなみ、一般に「ラムサール条約」と呼ばれています。この条約は、特に水鳥の生息地等として国際的に重要な湿地、及びそこに生息・生育する動植物の保全、特に水鳥の保全を促進することを目的としています。



<ラムサール条約の3つの柱>

保全・再生

水鳥の生息地としてだけでなく、私たちの生活環境を支える重要な生態系として、幅広く湿地の保全・再生を呼びかけています。

賢明な利用

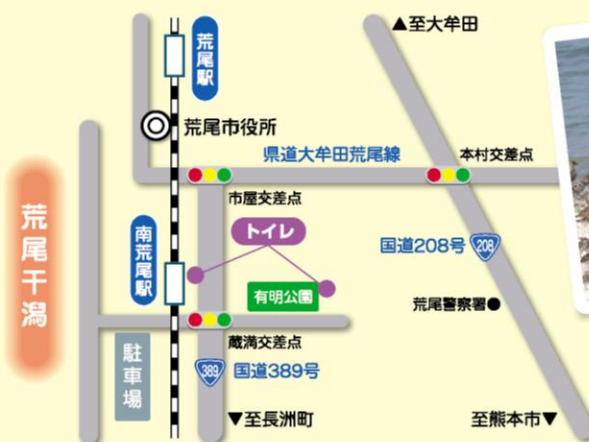
産業や地域の人々の生活とバランスのとれた保全を進めるために、湿地の「賢明な利用（Wise Use: ワイズユース）」を提唱しています。賢明な利用とは、湿地の生態系を維持しつつそこから得られる恵みを持続的に活用することです。

交流・学習

湿地の保全や賢明な利用のために、人々の交流や情報交換、教育、参加、啓発活動（CEPA: Communication, Education, Participation and Awareness）を進めることを決議しています。

<荒尾干潟のシャッターチャンス!>

- 干潟を見るのには潮が大きく引いた時が、野鳥を見るのには潮が満ちた時が適しています。荒尾市役所ホームページの干潮時刻早見表等で時間を確認してから出かけましょう！
- 渡り鳥のくる季節は、秋期・冬期・春期です。



荒尾干潟には
生き物がいっぱい!

いきいきとした
干潟の素顔を写真に
収めてみませんか？



あらおひがた

荒尾干潟デジタル写真コンクール



募集期間 平成24年 8月1日(水)～12月20日(木)

テーマ 「干潟と人々のつながり」

ラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟と人々のくらしのつながりを撮影した写真を募集します。

写真家 長野良氏による写真教室 in 荒尾干潟!!

本コンクールの開催に合わせて、審査委員長 長野良氏による写真教室を開催します。渡り鳥など地域の豊かな自然への理解を深めながら、写真の技術も磨いてみませんか？
※詳細は決まり次第お知らせいたします。

● 場所：荒尾干潟周辺

応募資格 年齢、プロ・アマの制限なし

部門 デジタル写真（一般部門・ジュニア部門^{※高校生以下}）、携帯写真部門

入賞者 ● 特別賞4点（審査委員長賞、九州地方環境事務所長賞、熊本県賞、荒尾市賞）
● 入選（各部門ごとに2点以内）

- 入賞・入選者には、賞状・副賞・記念品が贈呈されます。
※記念品提供：JR九州熊本支社、富士フィルム九州株式会社、日本野鳥の会熊本県支部
- 全応募作品は（選外も含む）、九州地方環境事務所の広報・展示等に、使用いたします。
※その他、詳細につきましては、下記の募集要項をご覧ください。



応募先 EPO九州 〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-8 熊本市国際交流会館2F
E-mail: photo@epo-kyushu.jp

募集要項



応募条件

- 1人5点まで応募できます（公募未発表作品に限ります。応募作品の撮影時期は問いません）。
- 応募テーマは「干潟と人々のつながり」です。国際的に重要な湿地を保全する「ラムサール条約」の登録湿地となった荒尾干潟の豊かな生態系を多くの人々に知っていただけるような写真を公募します。荒尾干潟及びその周辺で撮影された人物、風景、動物等のデジタル写真（携帯電話機で撮影された写真も含む）のうち、①荒尾干潟と人々のつながり、②荒尾干潟がもたらす恩恵、③荒尾干潟が持つ豊かな生物多様性等が表現されたもの、のいずれかが表現されている写真です。
- デジタル写真部門、携帯写真部門のいずれかを明記ください。
※デジタル写真部門の場合は、一般・ジュニア（高校生以下）についても明記ください。
- 作品の応募はデジタルデータのみとなります。フィルム写真の場合はスキャナ読み取りによるデータ（JPEG）変換を行ってください。
- 1作品データごとに氏名（フルネーム）と題名を付けてください。例）EPO太郎_荒尾干潟と人々のくらし
- メールによる応募の場合は以下のとおりです。
①カラーまたはモノクロいずれかの単点作品とします。②ファイル形式はJPEGとします。
③応募する際のメールサイズは一週につき20MB以内とします（応募の元となる作品のデータサイズは無制限）。
- 郵送による応募はCD-Rのみとし、その他の記録媒体は不可とします（郵送の場合はデータサイズ制限なし）。
- 応募する際は、下記の応募用紙を添付するか、ワード形式文書またはメールメモ欄に①氏名（よみがな）、保護者名（18歳未満の場合）②住所、③連絡先、④職業（自営、会社員、学生（学校名・学年）、その他いずれかを記載）、⑤応募点数、⑥部門、⑦応募作品名、⑧撮影時期、⑨撮影場所、⑩作品ごとに応募した理由（200字以内）を記入してください。
※応募用紙はEPO九州のホームページ（http://epo-kyushu.jp）よりダウンロードすることができます。
- 応募作品の印刷費、郵送料、通信費等の応募に係る経費は応募者の負担となります。

作品内容の制限

- 企業、団体等（看板、広告、ロゴマーク等も含む）が特定されるものは不可とします。
- 人物写真（個人が判別可能な写真も含む）を応募する場合、肖像権や著作権等応募作品に関する権利義務の処理は全て応募者が事前に責任を持って行うこととします。
- 応募作品は作画的なもの、合成等の加工がなされたものは不可とします（解像度の変更、簡易なトリミング、ホワイトバランスの補正は可）。
- 応募作品のうち、法令及び公序良俗に違反しているまたは違反のおそれがあるものは選考対象外とします。

作品取り扱い

- 全応募作品の著作権は主催者に帰属し、選外の作品もすべて広報等の各種活動に無償で使用できるものとします。また、著作権等応募作品に関する権利義務の処理は、すべて応募者が事前に処理することとなります。
- 応募作品の返却はできませんのでご了承ください。
- 入賞作品には、詳細データ（撮影場所、撮影日時、撮影データ等）を後日、照会する場合がありますので、あらかじめご準備下さい。
- 応募作品の取り扱いについては十分注意しますが、不測の事態による事故や不利益が発生した場合、主催者等による補償等の措置はありませんのでご了承ください。

個人情報について

- 募集して収集した個人情報は、写真コンクールの運営に係る事務にのみ使用し、コンクール終了後、速やかに破棄します。

審査について

- 写真のクオリティや撮影テクニック、テーマや主旨に合致しているかなど総合的に審査します。
熊本県、荒尾市、NPO団体関係者、その他有識者。

審査発表について

- 結果発表は、平成25年3月頃、EPO九州ホームページ等にて行います。
- 入賞された場合、直接ご本人宛に、ご連絡いたします。

問い合わせ・応募先

九州環境パートナーシップオフィス（EPO九州）
〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-8 熊本市国際交流会館2F 〈OPEN〉10:00～19:00（休館日：日・月曜日）
TEL 096-312-1884 FAX 096-312-1894 E-mail photo@epo-kyushu.jp

携帯写真部門
応募・問合せ用QRコード
こちらから応募できます



お願い 荒尾干潟は地元の方の大切な生活の場所です。写真撮影・野鳥観察の際には、漁業関係者や地元の方に迷惑をかけない、ゴミは持ち帰るなどのマナーを守っていただくようお願いします。